

『Mind Charging』

第 175 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 12 月 11 日

王貞治の名言



ヒットを打てなくても口惜しくなくなったし、
ホームランを打ってもそんなに嬉しくなくなった時、
限界がきたと思った。

ホームランの世界記録を樹立した選手であっても、自分の限界を感じる瞬間は技術ではなく『心(メンタル)』なのだを知ることができました。技術を習得するための努力を続けるエネルギーになるのも、ハイパフォーマンスを発揮し続けるためのハードなトレーニングに耐えるのも心の充実が求められます。王さんは“努力の人”というイメージです。そんな彼だからこそ、技術的にはまだ通用するものの、ファンの思う『プロ野球選手 王貞治』であり続ける自信がなくなったという気持ちだったのかもしれない。自分を奮い立たせる方法は、それぞれが持っていると思います。その全てが『よし、やるぞ!』という心が GO サインを出すかどうかだと思います。人生において限界はないと思います。常に GO サインを出せる心の充実をテーマに、目の前にあることから積極的に挑戦を続けていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

王 貞治(おう さだはる、中国語拼音:Wáng Zhēnzhì(ワン・チェンジー)、1940 年(昭和 15 年)5 月 20 日 -)は、東京府東京市本所区(現・墨田区)生まれ、中華民国籍の日本の元プロ野球選手・監督。血液型は O 型。愛称は「世界の王」「ワンちゃん」。福岡ソフトバンクホークス取締役会長、日本プロ野球名球会顧問を務める。史上 3 人目・セ・リーグ初の三冠王達成者。世界記録となるレギュラーシーズン通算本塁打 868 本を記録し、読売ジャイアンツの V9 に貢献した。また、シーズン四球(158 個)、シーズン敬遠(45 回)、シーズン出塁率(.532)、シーズン OPS(1.293)、通算得点(1967 点)、通算塁打(5862 塁打)、通算打点(2170 打点)、通算四球(2390 個)、通算敬遠(427 回)、通算出塁率(.446)、通算長打率(.634)、通算 OPS(1.080)の日本記録保持者。NPB 最多記録となる本塁打王を 15 回、打点王を 13 回、最多出塁数(現在の最高出塁率)を 12 回を獲得、NPB 最多記録となる最優秀選手を 9 回受賞している。セ・リーグ最多記録となるベストナインも 18 回受賞している。またセ・リーグ初の最多出塁数を獲得、セ・リーグ初の一塁手部門のダイヤモンドグラブ賞(現在のゴールデングラブ賞)を受賞している。(Wikipedia 参照)